

令和元年度

田原本町教育委員会活動点検評価報告書

(平成30年度実施事業分)

令和2年2月

田原本町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、平成30年度に田原本町教育委員会が実施した教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果について報告します。

令和2年2月 日

田原本町教育委員会

目 次

○はじめに	1
○教育委員会の運営・活動状況	2
○点検・評価項目	
・ 幼児教育の推進	3
・ 小・中学校教育の推進	5
・ 特別支援教育の推進	7
・ 学習体制の充実	9
・ 生涯学習環境の充実	11
・ 図書館事業の充実	13
・ 文化活動の促進	15
・ スポーツに親しむ環境の整備	17
・ スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	19
・ 文化財保護事業	21
・ 唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	23
・ 唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	25

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、田原本町教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

II 点検・評価の基本方針

1 点検・評価の目的

法改正を受け、町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、住民に公表することといたしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「田原本町第4次総合計画」基本目標1「子育ての願いをかなえるまちづくり」及び基本目標2「潤いや喜びを与える学びとスポーツのまちづくり」の教育関連施策を点検・評価の対象としました。

点検・評価の対象年度は、平成30年度です。

(1) 田原本町教育委員会の運営・活動状況

(2) 「田原本町第4次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検・評価(11施策)

3 点検・評価の方法

「田原本町第4次総合計画」に基づく施策体系ごとに、進捗状況の参考となる指標及び実施事務事業の実績を掲載しています。

上記の指標及び実施事務事業の実績を基に、教育委員会で点検・評価を行っています。評価にあたっては、客観性を確保するために、外部の学識経験を有する方から施策や事業についてご意見をいただいております。

【点検評価委員】

(敬称略 五十音順)

役 職	氏 名	備 考
委 員	鎌田 芳嗣	学識経験者
委 員	小林 祥孝	学識経験者

田原本町教育委員会の運営・活動状況

1 教育委員

(平成31年 3月31日現在)

職名	氏名	職業	就任年月日	任期満了年月日
教育長	植島 幹雄	公務員	H29. 4. 1	H32. 3. 31
委員	宮本 安男	無職	H24. 12. 23	H32. 12. 22
委員	上田 喜代子	無職	H27. 9. 22	H31. 9. 21
委員	吉川 眞司	会社員	H28. 3. 18	H33. 12. 23
委員	田部井紀美子	無職	H23. 12. 22	H31. 12. 21

2 教育委員会議の開催状況

- ・教育委員会定例会……10回
- ・教育委員会臨時会……3回

3 教育委員会議の審議状況

- ・報告事項……22件
- ・審議事項……30件

4 教育委員の活動状況

- ・定期学校訪問実施(年1回)……幼稚園5園・小学校5校・中学校2校
- ・幼稚園・小学校・中学校行事への参加……入園式・入学式・運動会・卒園式・卒業式及び各種研究会等
- ・各種研修会への参加……県外研修(石川県方面)・近畿市町村教育委員研修大会(和歌山県)・人権教育各種研究大会・青少年健全育成各種研究大会等
- ・各種行事への参加……成人式等

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	幼児教育の推進			総合計画位置づけ	1-2
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	幼児の心身の健全な発育を促すため、幼稚園・保育園・家庭が連携し幼児教育の充実を図る。また、遊びを通した総合的な学びを小学校での教科等の学びに円滑に接続するため、幼児教育と小学校教育の連携を推進する。
施策概要	基礎を培う乳幼児期における教育の推進。安心・安全な教育環境の整備。保護者ニーズに対応するための預かり保育の実施等幼児教育の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 公立・私立幼稚園就園率 対象年齢者に対する公立幼稚園の園児在籍率	%	52	55	58	60	62
		54	—	—	—	—
② 保育園・小学校との連携回数 合同運動会や音楽鑑賞会等交流・連携回数	回	65	67	70	73	73
		64	—	—	—	—
③ 預かり保育利用園児の1日平均利用園児数	人	19	20	22	23	24
		11	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	245,762	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園施設管理整備事業	教育総務課	140,828	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園教育振興事業	教育総務課	6,949	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		393,539			

3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p><input type="radio"/> A 最終目標 (R3) 達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標 (R3) 達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい</p> <p>公立と私立を合わせた幼稚園の就園率は約54%と目標値の52%を上回っており、保護者からのニーズの高い3歳児保育の定着や預かり保育事業の充実・拡大を図り、目標の達成を続けたいと考える。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p><input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>今後も、子育てに悩む家庭が増加し、幼稚園の果たすべき役割が大きくなると予想される。家庭の要望や地域の実態に応じた人的・物的等様々な子育て支援を通して、一層開かれた幼稚園づくりを推進する必要がある。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明) 幼児教育の推進及び幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続並びに幼稚園施設の老朽化の解消等に課題が見られる。 また、女性の社会進出が定着し、長時間保育の必要性が増している。</p>

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現状の水準を維持する)</p> <p>(説明) 幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであるとの認識の下、家庭と連携し、幼児教育の充実を図る。また、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続及び安心・安全な幼児教育の推進に向けた幼稚園施設の老朽化解消を推進する。</p>																																																																				
<p>施策を構成する主要な事務事業の方向性</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">事務事業名</th> <th style="width: 15%;">H30年度 決算</th> <th style="width: 15%;">R1年度 予算</th> <th style="width: 15%;">優先性</th> <th style="width: 40%;">R1に向けた 経営資源(事業費)の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園運営事業(一部)</td> <td style="text-align: right;">245,762</td> <td style="text-align: right;">269,999</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>幼稚園施設管理整備事業</td> <td style="text-align: right;">140,828</td> <td style="text-align: right;">216,429</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教育振興事業</td> <td style="text-align: right;">6,949</td> <td style="text-align: right;">4,606</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>【新規】</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td> </td> <td>—</td> </tr> <tr> <td> </td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td> </td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">393,539</td> <td style="text-align: right;">491,034</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	H30年度 決算	R1年度 予算	優先性	R1に向けた 経営資源(事業費)の方向性	幼稚園運営事業(一部)	245,762	269,999	3	現状のまま	幼稚園施設管理整備事業	140,828	216,429	3	現状のまま	幼稚園教育振興事業	6,949	4,606	3	現状のまま																															【新規】	—	—		—		—	—		—	計	393,539	491,034					
事務事業名	H30年度 決算	R1年度 予算	優先性	R1に向けた 経営資源(事業費)の方向性																																																																	
幼稚園運営事業(一部)	245,762	269,999	3	現状のまま																																																																	
幼稚園施設管理整備事業	140,828	216,429	3	現状のまま																																																																	
幼稚園教育振興事業	6,949	4,606	3	現状のまま																																																																	
【新規】	—	—		—																																																																	
	—	—		—																																																																	
計	393,539	491,034																																																																			
<p>内部評価のコメント</p>	<p>幼稚園と小学校との連携事業により、入学前からの就学相談・就学指導を行うことができた。また、小1プロブレムの課題解決に向けて、幼児教育の課題の共有や連携・交流を深めることができた。 預かり保育については、保護者の要望に応えるため、実施日の拡大など充実を図っていくとともに、幼稚園の認定こども園化についても、検討を進めている。</p>																																																																				
<p>外部評価委員のコメント</p>	<p>幼児教育の今日的課題として、保護者の就労体系の変化による女性の社会進出から、幼稚園に求められるものが大きく変化しており、幼稚園教育の充実を図りながら長時間の保育を可能とする預かり保育の充実・拡大と認定こども園の早期開園が待たれる。</p>																																																																				

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	小・中学校教育の推進	総合計画位置づけ	1-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	児童・生徒に確かな学力、豊かな人間性及びたくましい心身の育成を図るとともに、教育環境の維持・向上を図り、誰もが安全で安心できる学校を実現する。
施策概要	学ぶ力と意欲を伸ばし、豊かな人間性を育む学校教育の推進。安心・安全な教育環境の整備。関係機関との連携。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 「学校は楽しい」と回答した児童の割合 各小学校実施の「学校評価アンケート」	%	92	94	96	98	99
		87	—	—	—	—
② 「学校は楽しい」と回答した生徒の割合 各中学校実施の「学校評価アンケート」	%	80	82	84	86	88
		69	—	—	—	—
③ 学力向上に資するICT環境の整備 ICT機器(タブレット)を整備した小学校	校	1	3	5	5	5
		1	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
小学校運営事業	教育総務課	104,137	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校施設管理整備事業	教育総務課	24,752	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
学校給食事業	教育総務課	98,854	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校教育振興事業(一部)	教育総務課	10,935	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	7,700	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校運営事業	教育総務課	47,274	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校施設管理整備事業	教育総務課	121,520	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業(一部)	教育総務課	4,892	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	5,630	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	教育総務課	8,400	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		434,094			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい 児童・生徒の確かな学力の育成に向け、特に基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着を図る取組を推進している。計画的にタブレット端末を導入し、既存のICT機器と関連した活用や児童・生徒の学習への興味・関心・意欲を高め、わかりやすい授業の実践に取り組む。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 新学習指導要領に基づくプログラミング教育の推進に、タブレット端末を利用した授業を普及させ、今後さらに情報化社会に適用した情報活用能力を育成していくためにタブレット・デジタル教材の活用。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 子どもの学習意欲の向上や生活習慣の未確立、規範意識や体力の低下等に対応するための学校・家庭・地域の連携が課題である。また、大半の建物が建築後40年以上経過して施設の老朽化が進行しており、財源の確保も課題である。

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現状の水準を維持する)				
(説明)	これからの社会においては、主体的に考え、情報を総合化して判断・表現し、行動する力を備えた自立した社会人の育成がますます重要となることを踏まえれば、基礎的・基本的な知識・技能を徹底して身に付けさせるとともに、自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を育成し、「生きる力」をはぐくむことができるよう教育内容やICT等の教育環境の整備に努める。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H30年度決算	R1年度予算	優先性	R1に向けた経営資源(事業費)の方向性
	小学校運営事業	104,137	119,299	3	現状のまま
	小学校施設管理整備事業	24,752	271,996	4	現状のまま
	学校給食事業	98,854	145,506	3	現状のまま
	小学校教育振興事業(一部)	10,935	12,836	3	現状のまま
	小学校サポート体制支援事業(一部)	7,700	5,031	3	現状のまま
	中学校運営事業	47,274	53,541	3	現状のまま
	中学校施設管理整備事業	121,520	662,282	4	現状のまま
	中学校教育振興事業(一部)	4,892	13,205	3	現状のまま
	中学校サポート体制支援事業(一部)	5,630	6,628	3	現状のまま
	事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	8,400	8,478	3	現状のまま
	【新規】	—	—		—
	計	434,094	1,298,802		
内部評価のコメント	児童・生徒が1日の大半を過ごし、地域の避難所ともなる学校施設は耐震補強工事の実施により、安心・安全な環境となり、災害時の避難所としての機能も十分に発揮することができる。今後は老朽化対策を実施するとともに学習環境の向上に努める必要がある。また、学校給食では食材の産地を公表するとともに地場産の野菜を給食に用いるなど地産地消を進め、美味しく安心・安全な提供に努めている。来年度の中学校給食の実施に向け学校との調整を図り無事故の準備を進めること。				
外部評価委員のコメント	学校施設長寿命化計画策定により安全だけではなくより良い学習環境の醸成を計画的に進めていただきたい。また、多様化する児童生徒の学習環境・生活環境の対応については、学校と家庭・地域及び関係機関等との連携やスクールカウンセラー・支援員の効果的な活用により充実した学校生活を送れるよう措置を講じていただきたい。学校給食では、食材の安全に一層配慮しながら、地場産の食材を積極的に取り入れ、栄養のバランスのとれた美味しい給食を提供するなど、児童の食に関する関心と理解を高めながら、学校から家庭への情報発信も進めていただきたい。また、中学校での給食を早急に実施していただきたい。				

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	特別支援教育の推進	総合計画位置づけ	1-2,1-3
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	学習障害(LD)、注意欠陥・多動性障害(ADHD)及び広汎性発達障害(PDD)等の発達障害を含めた障害のある幼児・児童・生徒の支援体制を整備し、インクルーシブ教育の推進を図る。
施策概要	幼児・児童・生徒の個々の発達に応じた適切な教育の推進。安心・安全な教育環境の整備。就学の支援。関係機関との連携。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 通級指導教室活用者数 通級指導教室を活用している人数	人	24	25	26	27	28
			—	—	—	—
② 特別支援教育支援員の学校配置数 特別支援教育支援員の幼稚園・小学校・中学校への配置数	人	23 (幼16・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)
		23 (幼16・小5・中2)	—	—	—	—
③			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	17,708	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	14,865	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	4,917	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		37,490			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい 特別支援教育支援員の各小・中学校への配置により、一人ひとりの子どもの特性に応じた教育の充実が図られている。このような特別支援教育の充実が、通級指導教室活用的人数増加につながっていることがうかがえる。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 近年、特別支援学級及び通常学級で個別の指導・支援を必要とする子どもが共に増加しており、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実がますます求められている。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 特別支援教育では、子ども一人ひとりの個性に応じた教育が必要であり、校内における支援員及び家庭への経済的支援を行うための財源確保及び障害のある子どもない子ども誰もが能力や可能性を伸ばす教育課程の充実が求められる。

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現状の水準を維持する)				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	(説明) 特別支援教育では、子ども一人ひとりの個性に応じた教育が必要であり、校内における支援員及び家庭への経済的支援を行うための財源確保及び障害のある子どもない子ども誰もが能力や可能性を伸ばす教育課程の充実が求められる。				
		H30年度 決算	R1年度 予算	優先性	R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	幼稚園運営事業(一部)	17,708	32,748	3	現状のまま
	小学校サポート体制支援事業(一部)	14,865	15,256	3	現状のまま
	中学校サポート体制支援事業(一部)	4,917	5,098	3	現状のまま
	【新規】	—	—		—
		—	—		—
	計	37,490	53,102		
内部評価のコメント	小・中学校及び幼稚園に在籍する支援が必要な児童・生徒及び園児の学校や園における教育活動を支援し、学校・園の円滑な運営を図るための支援員を配置した。また、不登校児童・生徒の自立を促し、集団に適應する力や社会性を養う支援を行った。今後も子ども及び保護者に寄り添い学びの向上を図る。				
外部評価委員のコメント	特別な支援を必要とする子どもが増加傾向にあるなかで、子どもや保護者を取り巻く状況や学校へのニーズはますます複雑化・多様化している。通級指導教室や特別支援教育支援員の充実は、子どもだけではなく保護者への支援につながるものであり、関係者や関係機関と十分に連携しながら進めていただきたい。今後も相談・支援体制の一層の充実に向け、障害のある子どもない子ども誰もが相互に人格と個性を尊重し、人間の多様な在り方を認め合える共生社会の実現に資するインクルーシブ教育の推進に努めていただきたい。				

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	学習体制の充実			総合計画位置づけ	3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす成果目的	学びたい人が学びたい時に学べるよう、様々な学習の機会や情報を提供し、人と人との繋がりを広げるとともに、自己を向上させることで地域・町づくりに繋げる。
施策概要	各種教室・講演会・地区別懇談会等を開催して、様々な学習機会を提供する。また、子どもを対象とする教室を開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 公民館学習・放課後子ども教室等の年間開催数	回	300	300	300	300	300
		(説明) 公民館学習・放課後子ども教室等の年間開催数	375	—	—	—
② 子ども文化教室の年間開催数	回	59	59	59	59	59
		(説明) 子ども文化教室の年間開催数	35	—	—	—
③ 子ども文化教室の年間参加者数	人	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		(説明) 子ども文化教室の年間参加者数	512	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
公民館学習事業	生涯教育課	5,728	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
青少年健全育成推進事業	生涯教育課	12,021	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
人権教育指導事業	生涯教育課	4,004	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		21,753			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい (説明) 公民館学習講座や高齢者クラブ、放課後子ども教室など順調に成果をあげています。子ども文化教室は、陶芸・茶道・いけばな・料理、4つの教室を開講しています。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input checked="" type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 文化・芸術の体験、趣味や教養を深める講座等、生涯学習に関するニーズは高くなっている。住民が自分にあった趣味や生きがいを見つけるだけでなく、仲間作り等の人間関係を構築する場としても意義が大きい。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 平成30年度の生涯学習講座と歴史文化教室は、各6回、計12回開講した。新たな参加者を幅広く募ることが課題となっている。

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()																																																	
	(説明) 参加者の固定化・高齢化がみられる。新規の参加者が魅力を感じる教室を展開すること、また、夜間での開講も検討していく。																																																	
施策を構成する主要な事務事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務事業名</th> <th>H30年度 決算(単位:千円)</th> <th>R1年度 予算(単位:千円)</th> <th>優先性</th> <th>R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公民館学習事業</td> <td>5,728</td> <td>5,583</td> <td>3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>青少年健全育成推進事業</td> <td>12,021</td> <td>12,869</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>人権教育指導事業</td> <td>4,004</td> <td>3,289</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【新規】</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>21,753</td> <td>21,741</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	H30年度 決算(単位:千円)	R1年度 予算(単位:千円)	優先性	R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	公民館学習事業	5,728	5,583	3	現状のまま	青少年健全育成推進事業	12,021	12,869	4	現状のまま	人権教育指導事業	4,004	3,289	4	現状のまま											【新規】	—	—		—		—	—		—		計	21,753	21,741					
	事務事業名	H30年度 決算(単位:千円)	R1年度 予算(単位:千円)	優先性	R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																													
	公民館学習事業	5,728	5,583	3	現状のまま																																													
	青少年健全育成推進事業	12,021	12,869	4	現状のまま																																													
	人権教育指導事業	4,004	3,289	4	現状のまま																																													
【新規】	—	—		—																																														
	—	—		—																																														
	計	21,753	21,741																																															
内部評価のコメント	様々な教室や講座を開催しているが、内容等を精査し、見直しを図る必要がある。参加者数等をふまえて、継続や廃止を検討していく。																																																	
外部評価委員のコメント	公民館学習は、生涯学習の中核をなすもので、すべての住民が健康で文化的な生活をしていく上での糧となるものである。これまで開催してこなかった教室や講座を実施し、新規の参加者を募れるような工夫をしていただきたい。																																																	

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	生涯学習環境の充実	総合計画位置づけ	3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす 成果目的	安全で快適に利用できる施設環境の充実を図ることにより、住民の学習活動が活性化する。
施策概要	田原本青垣生涯学習センターは、生涯学習施設として町民の方々に活用されており、安全・快適に利用できるように、環境整備を行う。また、学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において、地域住民に開放する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 年間の公民館の利用件数 (説明) 年間の公民館の利用件数	回	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		4,317	—	—	—	—
② 小・中学校を住民に開放している年間件数 (説明) 小・中学校を住民に開放している年間件数	件	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		3,047	—	—	—	—
③ (説明)						
			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
生涯学習センター管理事業	生涯教育課	98,170	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		98,170			

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	図書館事業の充実	総合計画位置づけ	3-1-3
部名	教育委員会	主担当課名	図書館
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	市民が読書の楽しみを知り、趣味や生きがいを持って豊かな生活が送れるように資料を提供し、自発的な学習の支援を行うと共に、地域の情報拠点としての図書館サービスの充実を図る。
施策概要	郷土資料を含む多種多様な分野の資料を収集し、蔵書の充実を図る。学校等と連携を図り、子どもの読書活動を推進する。各種講演会や広報活動を行い、利用の促進を図る。多様なレファレンスに対応するため、資料に精通した職員の育成に努める。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 蔵書冊数	冊	202,000	203,000	204,000	205,000	206,000
		年度末の蔵書冊数	210,543	—	—	—
② 児童書の貸出冊数	冊	154,600	155,200	155,800	156,400	157,000
		年間の個人・団体・相互貸借された児童書の貸出冊数	152,903	—	—	—
③ 町内実質登録者数	人	6,100	61,000	6,100	6,100	6,100
		1年間で実際に貸出された町内の利用者数	5,335	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
図書館収集提供事業	図書館	19,822	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
子ども読書活動推進事業	図書館	187	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館利用促進事業	図書館	326	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館運営管理事業	図書館	7,088	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		27,423			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input checked="" type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい (説明) 蔵書冊数は数値的に達成しているように見えるが、廃棄が間に合っていないため、予定より多い蔵書冊数となっている。実際には、古い本ばかりで蔵書新鮮度は低い。 全国的に図書館の利用が低下しているとはいえ、田原本町でも貸出や登録等の利用に関しては目標に達していない。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 全国的に読解力の低下が問題視されており、その解決策として、読書及び本による調べものが効果的とされている。そのため、図書館の必要性は増していくと思われる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 利用者がなぜ図書館を利用していないのか、図書館の広報がうまく住民に伝わっていないのかを把握することが急務である。また、同時に、利用者ニーズを的確に捉え、蔵書を新鮮に保つことが必要となっている。

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	(説明) アンケートを実施し、利用者にニーズをとらえ、図書館施策を再検討する。 図書館でイベントを行い、新たな図書館の利用者を増やしていく。 他部局や機関と連携して事業を行い、図書館の利用効果をあげていく。				
	事務事業名	H30年度 決算(単位:千円)	R1年度 予算(単位:千円)	優先性	R1に向けた 経営資源(事業費)の方向性
	図書館収集提供事業	19,822	20,352	3	現状のまま
	子ども読書活動推進事業	187	258	4	現状のまま
	図書館利用促進事業	326	569	4	拡大
	図書館運営管理事業	7,088	6,729	3	現状のまま
	【新規】	—	—		—
	計	27,423	27,908		
内部評価のコメント	全国的な傾向というものの、図書館の来館数や貸出冊数といった数値が低下していることは問題であり、図書館事業の再検討を行う必要がある。効果的な選書やイベントの開催等を行い、図書館に魅力を感じてもらふ施策も必要だと思われる。また、利用者アンケートをするなどして、ニーズの把握に努めていきたい。				
外部評価委員のコメント	図書館の利用が減っている一因として、スマホ等の端末からすぐに情報が得られ、図書館に来館する必要がなくなってきたことが考えられる。貸出をメインに考えるのではなく、比較的他施設より来館しやすい図書館の特徴を生かし、人の交流の場や居心地の良い場所としての機能をメインに考えても良いのではないかとと思われる。				

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	文化活動の促進			総合計画位置づけ	3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす 成果目的	弥生の里ホールの利用促進を図り、住民が多様な文化・芸術に触れられる機会を提供する。
施策概要	弥生の里ホールでは、質の高いイベントを開催する。また、文化団体や社会教育関係団体の文化に関わる活動を支援し、日頃の文化活動の発表の場として文化祭を開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 弥生の里ホール年間利用 件数	件	240	240	240	240	240
		(説明) 弥生の里ホール年間利用件 数	367	—	—	—
②						
		(説明)		—	—	—
③						
		(説明)		—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額 単位:千 円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化活動推進事業	生涯教育課	9,187	B:普通	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
弥生の里ホール運営事業	生涯教育課	11,833	B:普通	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
計		21,020			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input checked="" type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい (説明) ホールの利用件数が目標の指標を超え、順調に成果があがっている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある より質の高い芸術や芸能等のホール事業を開催し、幅広い世代の方に楽しんでいただけるイベントを提供する。文化祭は、学習の成果を発表し、他の人の作品や活動にふれる場でもあり、仲間との人間関係を育む場でもある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) ホール事業について、知名度のある人のイベントは高額になるため、一定の受益者負担を設定する必要がある。 ホール事業、文化祭等の各種イベントについては、今後も幅広い周知に努めていきたい。

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	(説明) 予算の範囲内で、より充実したホール事業を展開する。 文化祭について、子ども映画祭の来場者が減少しているため、別の催しを企画する等、新規の参加者を増やせるよう工夫をする。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H30年度決算(単位:千円)	R1年度予算(単位:千円)	優先性	R1に向けた経営資源(事業費)の方向性
	文化活動推進事業	9,187	20,176	3 普通	現状のまま
	弥生の里ホール運営事業	11,833	7,309	3 普通	現状のまま
	【新規】	—	—		—
		—	—		—
	計	21,020	27,485		
内部評価のコメント	毎年継続的に実施しているホール事業と、単年度で行う事業がある。内容や客層だけでなく、開催時期についても偏りがないようにする。 文化祭については、新規の方の参加を促す方策について検討していく。				
外部評価委員のコメント	より魅力のあるホール事業や文化祭を開催し、幅広い世代の多くの方に楽しんでいただけるよう、工夫をしてください。				

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	スポーツに親しむ環境の整備	総合計画位置づけ	3-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす成果目的	体育施設の維持管理に努め、住民が身近な地域で安全にスポーツが行えるようにする。
施策概要	住民のスポーツ活動の拠点として、各体育館・健民運動場及びテニスコート等の環境の整備を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 中央体育館、やすらぎ体育館の年間利用件数	件	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
		(説明) 中央体育館、やすらぎ体育館の年間利用件数	2,609	—	—	—
② テニスコートの年間利用件数	件	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		(説明) テニスコートの年間利用件数	1,560	—	—	—
③ 健民運動場の年間利用件数	件	250	250	250	250	250
		(説明) 健民運動場の年間利用件数	391	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
体育施設管理事業	生涯教育課	26,267	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		26,267			

3. 施策の分析

<p>達成度</p> <p>(目標の達成状況はどうか)</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている</p> <p><input type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている</p> <p><input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい</p> <p>(説明) 体育館、テニスコート、運動場の利用件数は、目標の指標を超え、順調に成果があがっている。</p>
<p>必要性</p> <p>(ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p><input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある</p> <p><input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない</p> <p><input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>(説明) 施設が老朽化しているため、計画的に点検や改修を行い、安全で快適にスポーツを楽しむことのできる環境を整える。 平成30年から供用開始したスケートボードパークも継続した利用がある。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明) 健康管理や体を動かすことについて、住民の意識が高くなっている。 多くの方に安全に施設を利用していただけるよう、計画的に改修を進める。</p>

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>				
<p>施策を構成する主要な事務事業の方向性</p>	<p>事務事業名</p>	<p>H30年度 決算(単位: 千円)</p>	<p>R1年度 予算(単位: 千円)</p>	<p>優先性</p>	<p>R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</p>
<p>体育施設管理事業</p>	<p>26,267</p>	<p>22,728</p>	<p>5</p>	<p>現状のまま</p>	
<p>【新規】</p>		<p>—</p>	<p>—</p>		<p>—</p>
<p>計</p>	<p>26,267</p>	<p>22,728</p>			
<p>内部評価のコメント</p>	<p>体育施設は、多くの個人・団体が利用し、大会やイベント等を開催する場所でもある。安定した施設の維持管理ができるよう、改修する箇所の優先順位を検討し、計画的に改修を行う。</p>				
<p>外部評価委員のコメント</p>	<p>利用者が安心してスポーツやイベント等を楽しめるよう、体育施設の維持管理に努められたい。</p>				

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	総合計画位置づけ	3-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす成果目的	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の住民が、多種多様なスポーツに親しめるよう、関係機関と連携し、気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できるようにする。
施策概要	卓球やバドミントン等のスポーツ教室の開催や春・秋の総合競技大会、町民マラソン・駅伝大会を開催する。また、親子バレーボール大会や歩こう会を開催し、体育協会、スポーツ少年団への助成を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① テニス・ジュニアサッカー等の年間教室開催数	回	250	250	250	250	250
		(説明) 253	—	—	—	—
② 健康スポーツの集いの年間開催回数	回	2	2	2	2	2
		(説明) 2	—	—	—	—
③ 健康スポーツの集いの参加者数	人	60	60	60	60	60
		(説明) 97	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育課	5,422	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
スポーツ教室開催事業	生涯教育課	7,233	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
春・秋総合競技大会開催事業	生涯教育課	2,189	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
マラソン・駅伝大会開催事業	生涯教育課	1,015	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		15,859			

3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p><input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい</p> <p>(説明) ほぼ目標値どおりの成果となっている。健康スポーツの集いについては、目標値を大きく上回っている。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p><input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>(説明) 住民の健康志向は高く、スポーツを通じた健康増進を図る必要がある。スケートボードパークでは、技術的な向上を目的とするスクールとは別に、初心者講習の時間を設け、を開催しており、多数の申し込みがある。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明) 総合型地域スポーツクラブ「青垣スマイルクラブ」と競合しないようにスポーツ教室を展開する。各種教室やスケートボードの利用について、幅広く周知をし、利用者の増加を図っていきたい。</p>

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他（現状の水準を維持する）</p>				
<p>(説明) スポーツの技術的な向上や健康増進だけでなく、コミュニケーションの場としての機能も果たしている。できるだけ多くの参加者を募りながら、事業を継続していきたい。</p>					
<p>施策を構成する主要な事務事業の方向性</p>	<p>事務事業名</p>	<p>H30年度 決算(単位:千円)</p>	<p>R1年度 予算(単位:千円)</p>	<p>優先性</p>	<p>R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</p>
	<p>社会体育振興事業</p>	<p>5,422</p>	<p>5,018</p>	<p>3 普通</p>	<p>現状のまま</p>
	<p>スポーツ教室開催事業</p>	<p>7,233</p>	<p>6,805</p>	<p>3 普通</p>	<p>現状のまま</p>
	<p>春・秋総合競技大会開催事業</p>	<p>2,189</p>	<p>2,376</p>	<p>3 普通</p>	<p>現状のまま</p>
	<p>マラソン・駅伝大会開催事業</p>	<p>1,015</p>	<p>1,220</p>	<p>3 普通</p>	<p>現状のまま</p>
	<p>【新規】</p>	<p>—</p>	<p>—</p>		<p>—</p>
		<p>—</p>	<p>—</p>		<p>—</p>
	<p>計</p>	<p>15,859</p>	<p>15,419</p>		
<p>内部評価のコメント</p>	<p>住民が年齢や体力に応じたスポーツを継続していけるよう、各種のスポーツ教室や歩こう会等のイベントを開催していく。スケートボードでは、年に4回の大会(成果の発表会)を開催しており、スクールの受講者や利用者が日頃の成果を披露する場になっている。</p>				
<p>外部評価委員のコメント</p>	<p>体力向上や健康の増進等、健康志向が益々高まっています。誰もが気軽に参加できるスポーツ教室や競技会を開催してください。</p>				

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	文化財保護事業	総合計画位置づけ	3-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	文化財保護の精神と認識を深め、国・県・町指定の有形文化財及び史跡を後世まで貴重な財産として残す。
施策概要	唐古・鍵遺跡と黒田大塚古墳内の公有地の管理及び史跡の現状変更等、進達業務。その他国・県・町指定文化財所有者に防犯、防災の指導。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 町文化財指定件数(累計)	件	8	9	9	10	10
		8	—	—	—	—
②			—	—	—	—
			—	—	—	—
③			—	—	—	—
			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化財保護事業	文化財保存課	6,428	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
計		6,428			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい 各所有者に対しては、連絡を密にして防災状況の確認などをおこなった。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 後世に本町の財産を継承していくため、所有者には文化財の維持管理に注意を払ってもらい、常に防災・防犯意識をもっていただく必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	地域の財産である文化財であり、その地域の方の防災・防犯の意識を高めていくよう周知していかなければならない。

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	【複数選択可】 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 () (説明) 文化財の適切な管理を行うため、引き続き所有者と連絡を密におこない、管理上の問題点を把握していく。事業によっては補助金を交付する。 町指定文化財について、次年度中に指定案件を選定し、1件指定する。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H30年度決算(単位:千円)	R1年度予算(単位:千円)	優先性	R1に向けた経営資源(事業費)の方向性
	文化財保護事業	6,428	6,797	4	現状のまま
	【新規】	—	—		—
計	6,428	6,797			
内部評価のコメント	町内の貴重な文化財を後世に伝えるため、調査と指定を進めていく。引き続き防火・防災の啓発活動を推進する。				
外部評価委員のコメント	遺跡や寺社等、文化財は多岐にわたるが、町の財産をより良い状態で将来に残せるよう、文化財指定ができる物件の調査を進め、防火・防災等の啓発に努め、文化財の保護に努めていただきたい。				

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	総合計画位置づけ	3-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	弥生の追体験ができる公園として、またより多くの来園者に親しまれる憩いの場、コミュニティの場として賑わいのある活用事業を推進する。
施策概要	賑わい創出の場としてイベントを開催する。また、小・中学校の学習の場として活用する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 唐古・鍵遺跡史跡公園年間来園者数	人	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
		54,422	—	—	—	—
②			—	—	—	—
			—	—	—	—
③			—	—	—	—
			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	文化財保存課	52,097	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		52,097			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input checked="" type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい
	4月の史跡公園開園以来多くの来園者で賑わい、目標を上回る成果を上げることができた。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある
	史跡公園・道の駅が4月にオープン、ミュージアムが6月にリニューアルオープンしたことにより、唐古・鍵遺跡への関心は高まっている。
施策を進める上での問題点・課題	指定管理者と協力して来園者が安全に公園を訪れることができるよう配慮する。

4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	【複数選択可】 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	(説明) 来園者満足度を高めるため、指定管理者とともにボランティアの支援や育成に努める。また、指定管理者に対しより多くの人々に来園していただけるよう助言を行う。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H30年度 決算(単位:千円)	R1年度 予算(単位:千円)	優先性	R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	52,097	45,718	4	現状のまま
	【新規】	—	—		—
		—	—		—
	計	52,097	45,718		
内部評価のコメント	公園開園1年目は目標を上回る実績が上げられた。一過性とならないよう、引き続き指定管理者との協力体制により賑わいのある施設となるよう事業を進めていく必要がある。				
外部評価委員のコメント	来園者がリピーターとなっていただけるよう、魅力的な公園づくりを推進してもらいたい。				

施策評価シート(対象:H30年度実施施策)

施策名	唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	総合計画位置づけ	3-3-2
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	ミュージアムの来館者が快適に観覧でき、満足していただけるようにする。また、文化財に対する理解・愛着を深め、学習意欲・愛護精神を育成する。
施策概要	ミュージアムの適切な管理や受付業務を行う。イベントや企画展、講座等を開催し、情報発信を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H30年度	R1年度	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 唐古・鍵考古学ミュージアム年間来館者数	人	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
		10,168	—	—	—	—
② 唐古・鍵遺跡に対する理解が深まったと答えた小学生の割合	%	72	74	75	75	75
		71	—	—	—	—
③ 唐古・鍵考古学ミュージアムのウェブサイト年間アクセス数	件	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
		33,501	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H30年度)

事務事業名	担当課名	H30年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	文化財保存課	3,553	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		3,553			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい 6月のミュージアムリニューアルオープンにより、HP閲覧数は目標を大きく上回った。来館者数は常設展来館者のみのカウントとしており目標を少し下回った。また、小学生の唐古・鍵遺跡への理解度はほぼ横ばいであった。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 史跡公園・道の駅が4月、ミュージアムが6月にリニューアルオープンし、また展示品の大多数である唐古・鍵遺跡の出土品が10月に国の重要文化財に指定されたことで、本事業への関心は高まっている。今後もニーズが増加していくと予想される。
施策を進める上での問題点・課題	ミュージアムと離れた位置にある史跡公園・道の駅の指定管理者と連携した事業展開と広報が課題である。各施設がもつ性格の違いを明確に住民へ伝えられるかも課題として挙げられる。

4. 次年度の展開方針[部としての判断]

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 () (説明) より多くの人々に来館していただけるようなイベント・企画展を開催する。また、今後の需要が見込まれるインバウンドも視野に入れた事業展開を行う。																																																																	
施策を構成する主要な事務事業の方向性	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">事務事業名</th> <th style="width: 15%;">H30年度 決算(単位: 千円)</th> <th style="width: 15%;">R1年度 予算(単位: 千円)</th> <th style="width: 15%;">優先性</th> <th style="width: 40%;">R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業</td> <td style="text-align: center;">3,553</td> <td style="text-align: center;">6,366</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">拡大</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr> <td>【新規】</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td> </td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td> </td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td> </td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">3,553</td> <td style="text-align: center;">6,366</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	H30年度 決算(単位: 千円)	R1年度 予算(単位: 千円)	優先性	R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	3,553	6,366	4	拡大																																									【新規】	—	—		—		—	—		—	計	3,553	6,366		
事務事業名	H30年度 決算(単位: 千円)	R1年度 予算(単位: 千円)	優先性	R1に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																																														
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	3,553	6,366	4	拡大																																																														
【新規】	—	—		—																																																														
	—	—		—																																																														
計	3,553	6,366																																																																
内部評価のコメント	展示品の多くが国の重要文化財に指定されたのを受け、適切な展示品の維持管理を行うとともに、周知を行っていく。インバウンド事業や地域の子供たちに対するイベント等により新規の来館者増へつなげ、また定期的な講座の開催によりリピーターを獲得する。																																																																	
外部評価委員のコメント	HP閲覧数が多いことから、興味・関心は高いといえる。ミュージアムへ足を運んでいただけるよう、引き続き公園との連携やPRなど、事業を進めてもらいたい。																																																																	